

稲作だより ～ 第10号 ～

今後も高温少雨予報！田んぼの乾きすぎに注意！！
「飽水管理」「間断かん水」で根の活力を維持！！

1 生育概況

表1 7月18日現在の生育状況 (作柄診断圃、農業技術普及課調べ)

品種 (地域)	年次	草丈 (cm)	茎数 (本/㎡)	葉数 (枚)	葉色 (SPAD値)	出穂予測 (月/日)
はえぬき (尾花沢市尾花沢)	本年	71.0	508	11.5	38.9	8/4
	平年	64.8	549	11.1	39.6	8/6
	平年比・差	110%	93%	+0.4	-0.7	-2
つや姫 (村山市河島)	本年	67.0	523	12.2	38.2	8/6
	平年	64.8	554	11.0	37.1	8/10
	平年比・差	103%	94%	+1.2	+1.1	-4
雪若丸 (東根市野田)	本年	67.6	598	12.4	37.4	7/31
	平年	62.3	694	11.6	39.9	8/2
	平年比・差	109%	86%	+0.8	-2.5	-2

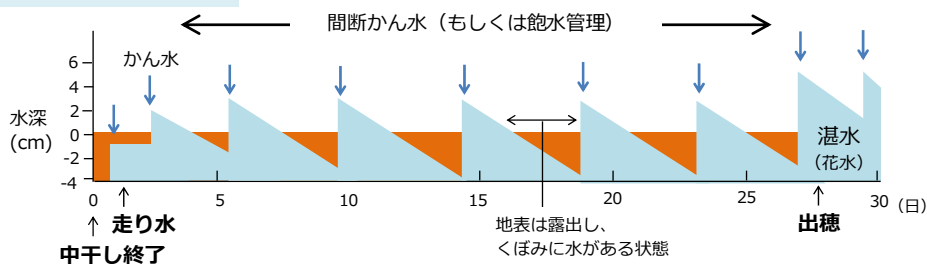
2 当面の技術対策

用水少ない！！
効率的な水管理を

「飽水管理」と「間断かん水」で根の活力維持！

- ・ 穂が作られる大事な時期です。「飽水管理」「間断かん水」を継続しましょう。
出穂を確認したら穂揃い期までは土壌水分が十分にある状態とします。
- ・ 水尻まできちんと用水が届いているか確認しましょう。
白乾亀裂は、イネの枯れあがりや収量・品質の低下につながります。
- ・ 飽水管理（地表は露出し、くぼみに水がある状態を保つような水管理）は地温上昇を抑え、節水にもつながります。高温時には積極的に取り組みましょう。
- ・ 地域全体に用水が行き渡るようよく話し合い、効率的に用水を利用しましょう！！

水管理のイメージ



飽水管理のイメージ

地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まってい
て、土壌が常に湿
潤状態に保たれて
いる（右図）

